



第136回古民家歴史部会・歴史探訪

「横浜散策18区シリーズ・第11回」

平成31年4月3日(水)

「都筑区・歴史散策」

*集合：地下鉄センター北駅(改札口) 00時00分厳守同時出発

*解散：地下鉄センター南駅

ゆるキャラ

区の花



つつきあい

桜草

かつてこの地が都筑郡の一部であったことから、分区に際してこれが引かれた。都筑郡各町村が横浜市に編入された際に、都筑郡は行政上消滅していたが、「都筑」という地名はここにおいて区名として復活したと言える。また、街作りが新しい「都を筑く」という区民の総意で進むことを願う意味も込められている。当時の都筑郡の範囲は現在の都筑区よりかなり広く、現在の緑区・青葉区・旭区の全域、および保土ヶ谷区、港北区、川崎市麻生区の一部が含まれていた。

【参考資料】★散策コース「横浜」(昭文社) ★神奈川県謎解き散歩(新人物文庫) ★横浜地図帳・街の達人(昭文社) ★横浜・歴史の街かど(横浜開港資料館) ★都筑谷区役所発刊図書ほか

①横浜歴史博物館

特徴ある建物。古代から近代にわたる人々の生活を学び体験する講座・イベントが数多く企画されるほか。横浜に生きた人々の歴史を常設展示している。

②大塚・歳勝土遺跡公園

大塚遺跡は大塚遺跡は弥生時代中期の環濠集落であることが確認された。歳勝土遺跡は、大塚遺跡に住んでいた人の墓地であった。弥生時代の大規模な環濠集落が完全な形で発掘されたのは極めて稀有な例である。両遺跡の全体像が明らかになった結果、居住域と墓域が一体的に把握できる貴重な遺跡であるとして1986年(昭和61年)1月31日に国の史跡に指定された。現在、歳勝土遺跡と大塚遺跡の3分の1の面積にあたる約33,000平方メートルが保存され、大塚遺跡で発見された遺構のうち堅穴住居址27軒を保存(うち7軒を復元)し、高床式倉庫と考えられる掘立柱建物は検出された10棟のうち1棟を復元、また、環濠を長さ250メートルの範囲で復元し保存している。歳勝土遺跡は、発見された遺構25基の方形周溝墓を保存し、うち5基を復元して保存している。

③都筑民家園

江戸時代後期(約200年前)都筑郡牛久保村に造られた旧長澤家で、柱の一部に手斧仕上げが見られたり、土間境の柱が大黒柱になっているなど、古い形式を残した貴重な民家である。

④茅ヶ崎城址公園

中世城郭史の傑作ともいわれている茅ヶ崎城址を歴史公園として整備した。

⑤正覚寺

天台宗の寺院で創建は不詳、村民清左衛門の祖先が創建したといわれています。慶安2年(1649)には江戸幕府より寺領5国1斗のご朱印状を拝領したと言います。花菖蒲や紫陽花など「花のお寺」と呼ばれるにふさわしい景観である。

⑥都築中央公園

都筑区最大の総合公園。レストハウス、遊歩道、駐車場も整備されている。里山・樹林・谷戸などの自然を残しながら、池・炭焼き施設・休憩所などの設備も整備されている。NPO法人【都筑里山倶楽部】

⑦茅ヶ崎杉山神社

旧都筑郡、橘樹郡、久良岐郡の3郡に72社も分布している杉山神社の本社と有力視されている4社の一つ。早淵川を望む丘の上に鎮座し、1400年近く都筑を見守ってきた。

⑧慈眼寺

真言宗豊山派の寺院。元亀2年(1571)の創建。開山は浄海。当初は草庵だったが永禄3年(1560)ごろ上杉謙信が小田原攻めの時に本陣として使用し、失火により焼失。のち専栄和尚が中興開山となり、村民の為に耕地を開き、早淵川に堰を作り水田を開いた。

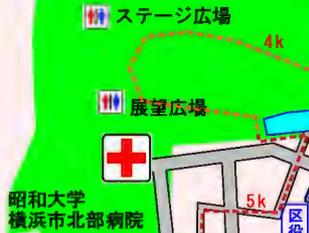
文責:神田恵仁



都筑区の位



⑥ 都筑中央公園



② 大塚・歳勝土遺跡公園

③ 都筑民家



全行程
約7km



都筑区
都筑区歴史散策



茅ヶ崎城の遺



⑤ 正覚寺

横浜散策18区
本郷ふじやま公園古民家歴史部会

dimson